Victor

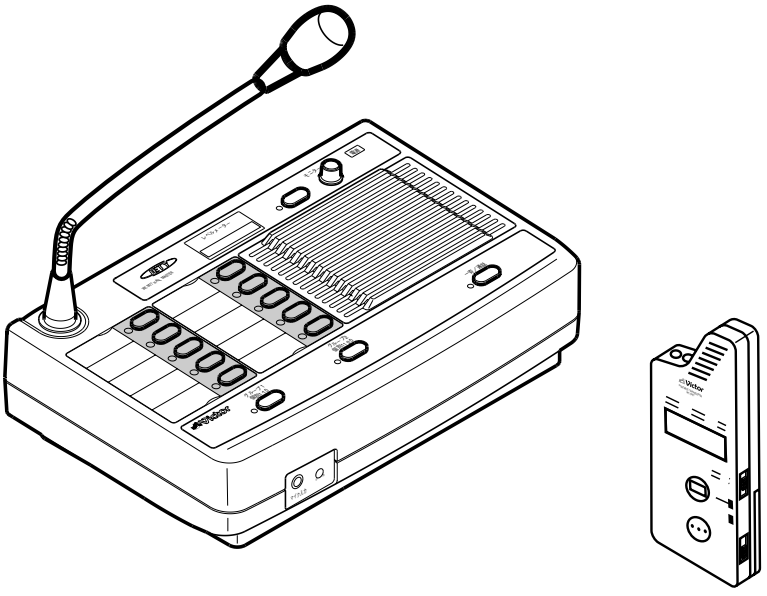
"HIS MASTER'S VOICE"

ワイヤレスインターカムシステム

型名 WT-T800シリーズ

取扱説明書

JETY



－お買い上げありがとうございます－

ご使用の前に
この「取扱説明書」(と別冊の「安全上のご注意」および「電池の取扱いについてのご注意」）を
よくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に本書の「安全上のご注意」（4～5ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上、重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されている
か、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源を大切にしています。
この取扱説明書は再生紙100％を使用しています。

LST0053-001A

もくじ

商品概要 3
安全上のご注意 4
取り扱い上のお願い 5
システム構成図 6
各部のなまえとはたらき 8
お使いになる前の準備 12

基本的な使いかた

子機から操作器や子機を呼び出す 13
操作器から一斉指示をする 14
操作器からグループ別に一斉指示をする 15
子機のグループを変更する 16
子機で呼び出しに応答する／通話に参加する 17
操作器で呼び出しに応答する／通話に参加する 17
操作器から個別呼び出しをする（内緒モード） 18

その他の使いかた

緊急ボタンを使う 19
外部機器からの音声を送る 20
店内放送をする 21

各部のランプ表示 22
こんなときは 23
主な仕様 25
消耗品について 26
省エネルギーについて 26
商品の廃棄について 26
保証とアフターサービス 27

商品概要

◆400MHz帯／1mWの採用で、明瞭な音で通話ができます。

◆免許および申請手続きは一切不要ですので、設置したその日から使用できます。

◆サブコントローラー／WT-M81の増設により、最大8エリアの広いサービスエリアが得られます。

◆最大8エリアに拡張することで、多層階の建物等で運用ができます。

◆スピーディーな立ち上がりと、シグナル音の採用で確実な連絡ができます。

◆電話感覚でスムーズな通話ができる同時通話方式を採用しています。

◆最大34者間での同時通話ができます。（操作器（ホールマスター／WT-MC80）2台、子機（ポータブルトランシーバー／WT-TR80）32台）

◆操作器からの呼び出しで特定子機のみと会話できる個別通話（内緒モード）は、最大20台まで設定できます。

◆グループ設定することで、最大2グループで使用できます。

◆グループモード運用では、必要なグループだけに情報を伝えることができます。

◆子機の参加グループをスイッチで簡単に変更ができます。

◆子機は無制限に追加できます。

◆子機はアンテナを内蔵し、装着時にじゃまにならないデザインを採用しています。

◆バッテリー単体での充電ができ、バッテリーを取り替えることにより子機を24時間使用できます。

◆1個のバッテリーによる連続使用時間は約16時間です。（4時間充電、10%使用率）（使い方によっては使用時間は変化します）

◆ホールコンピューターなどの外部入力音声を子機へ伝えることができます。

◆外部入力音声は2系統入れることができ、それぞれ1または2グループ入力もできます。

◆緊急ボタンにより緊急信号を送信でき、緊急事態時はトークボタンを押さなくても音声を送信できます。

◆ワイヤレスマイクロホン／WM-P780Bとコントロールマイクロホン／WT-UM1を組み合わせることにより、業務連絡と店内放送がマイク1本でできます。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

警告図記号の説明例



名称：指挟み注意
意味：特定の条件下において、指を挟む可能性を示すもので、図の中に具体的な注意内容が描かれています



名称：分解禁止
意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が描かれています



名称：電源プラグをコンセントから抜け
意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので図の中に具体的な指示内容が描かれています

⚠ 危険

■専用の充電式電池・充電器以外は使用しないでください。
専用品以外を使用すると、発熱・発火の原因となります。
■専用の充電式電池を指定以外の用途に使わないでください。



⚠ 警告

■本システムは日本国内専用です。
メインコントローラー／WT-M80、サブコントローラー／WT-M81は、日本国内向けＡＣ100V仕様です。
必ず商用電源ＡＣ100V 50Hz/60Hzでご使用ください。



■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因になります。



■機器を分解、改造しないでください。
また、マスタートランシーバー／WT-T80およびポータブルトランシーバー／WT-TR80の改造は法律でも固く禁じられています。



分解禁止

■強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
機器の故障や、電池の漏液・発火・破裂・火災の原因になります。
■機器を濡らさないでください。また、屋外や軒下など雨水のかかる可能性のある場所へは設置しないでください。機器の故障・感電・火災の原因になります。



⚠警告

■天井や壁面に取り付ける機器については、機器の重量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付けてください。化粧合板、石膏ボード、プラスターボード等、材質に強度が足りない場合は、補強材（ベニア合板等）を当てて補強してください。補強が不十分な場合は、落下し、けがをすることがあります。



⚠注意

■設置工事は技術と経験が必要です。必ず販売店にご依頼ください。
■ガラス材などの天井に取り付ける場合は、穴加工によるエッジの保護処理をおこなってください。保護処理がないとけがをすることがあります。
■取り付けネジやナットで締め付ける箇所がある機器は締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。
■イヤホンをつけたままで、機器の電源を入り切りをしたり、プラグの抜き差しはしないでください。耳を痛める恐れがあります。



■この機器の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に、お子様がいる場所ではご注意ください。
■傾いた所やぐらついた台など、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
■湿気やほこりの多いところ、また、炎天下の車内や暖房器具の近くなど高温の場所での使用、放置はしないでください。
機器の故障・火災の原因になります。



取り扱い上のお願い

■技術基準適合証明ラベルは大切に取り扱ってください。
マスタートランシーバー／WT-T80およびポータブルトランシーバー／WT-TR80には、「技術基準適合証明品」をあらわす証明ラベルが貼ってあります。みだりに剥がしたり、損傷のないようにしてください。証明ラベルが貼ってない機器はサービスをご提供できない場合があります。

■専用の充電式電池は消耗品です。
WT-TR80に使用する専用の充電式電池の充放電回数は約500回です。これ以下であっても充電をおこなっても機能が回復しなくなったら、電池の寿命とお考えください。このようなときは、指定の新しい充電式電池をお買い求めください。電池寿命をより長持ちさせるために、電池容量を十分に使いきってから充電してください。

■お手入れは乾いた柔らかい布でおこなってください。
濡れたぞうきんなどで拭くと、故障の原因となります。また、アルコール、シンナー、ベンジンなど揮発性のものをかけたりしないでください。

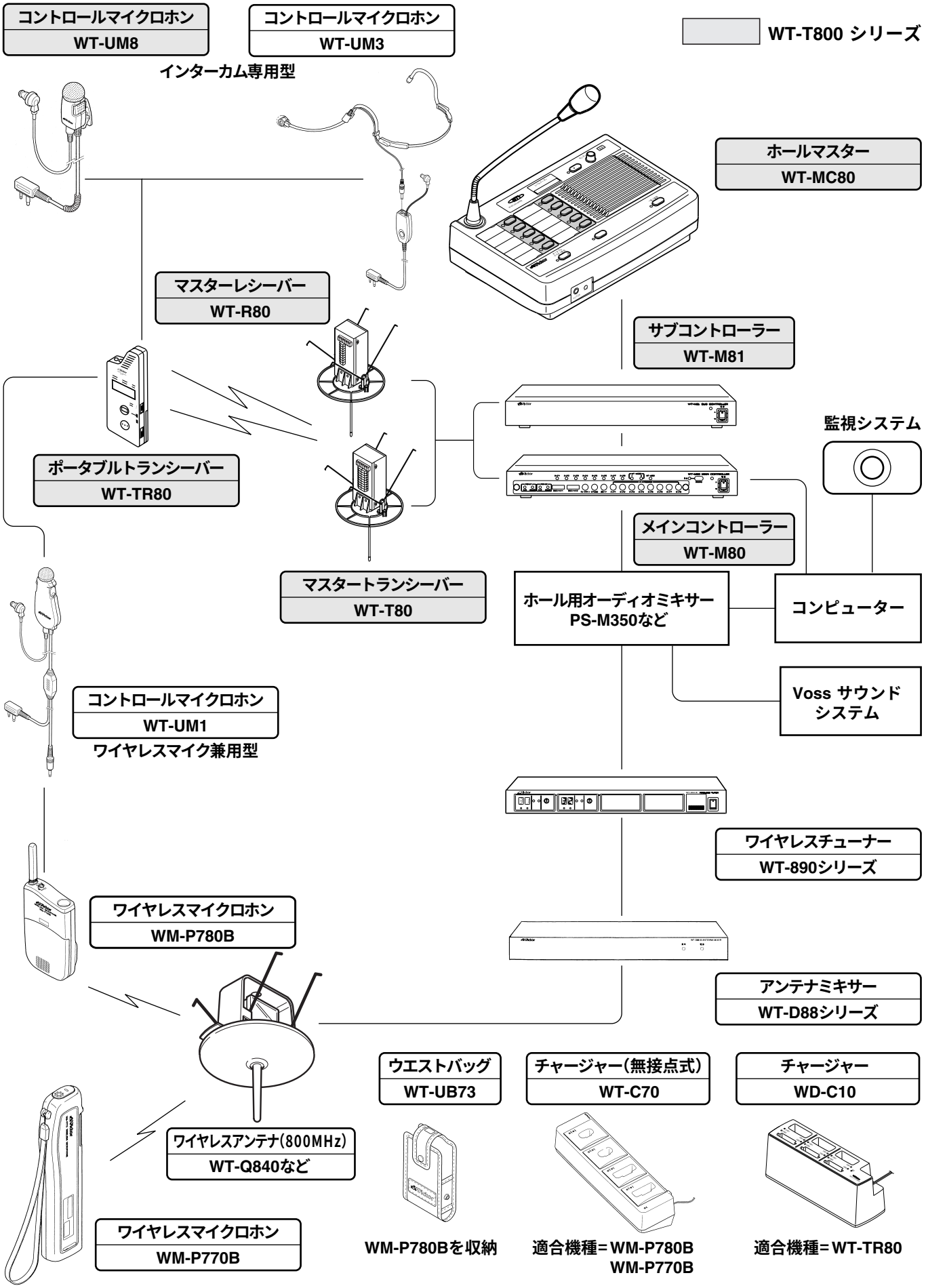
■直射日光のあたらない、風通しのよい場所に保管してください。
長時間（2週間以上）使用しないときは、専用充電式電池を必ず機器からはずしてください。

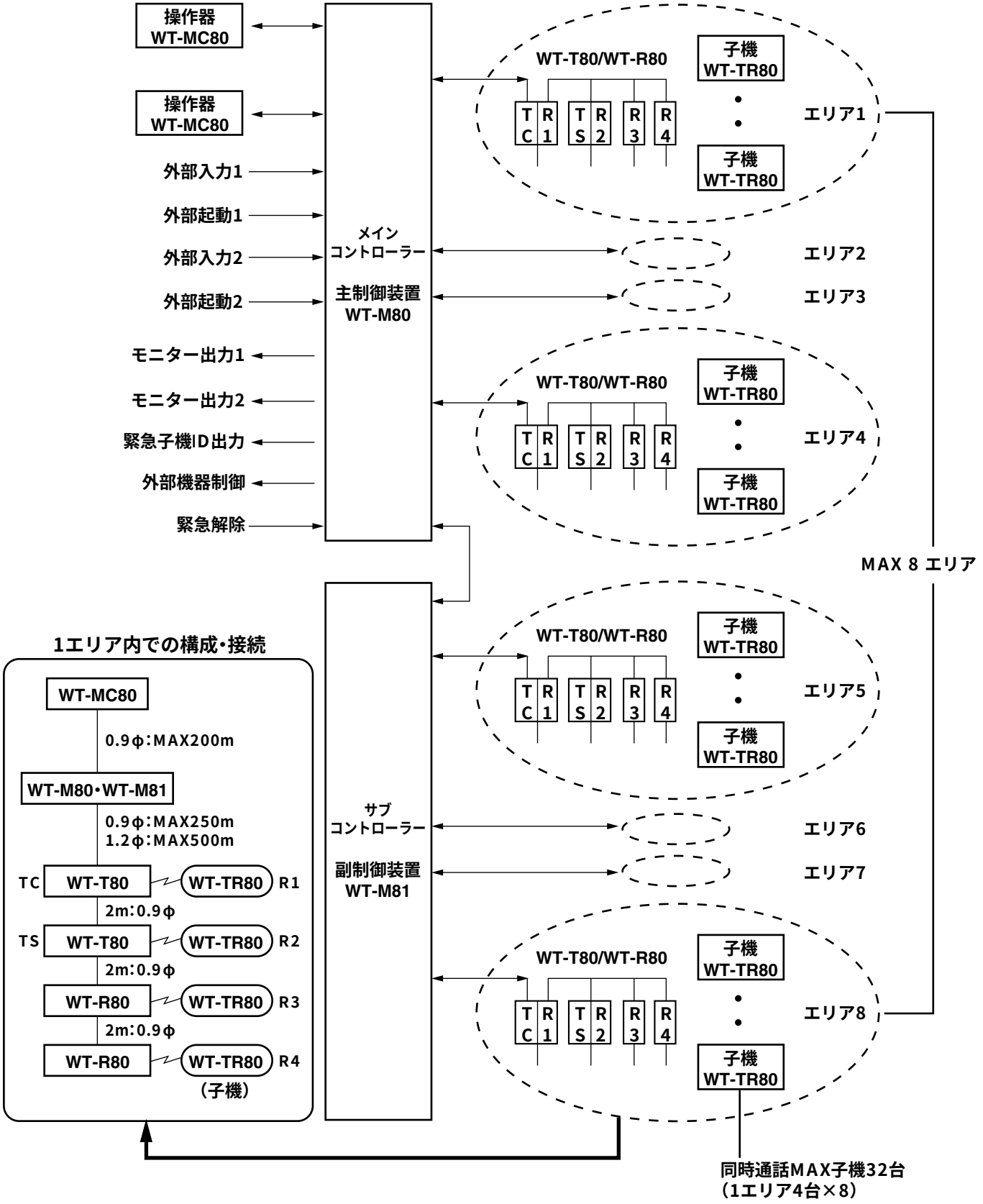
■不要になった充電式のリチウムイオン電池は捨てずにリサイクルにご協力ください。
WT-TR80には、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リチウムイオン電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、リチウムイオン電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。



Li-ion

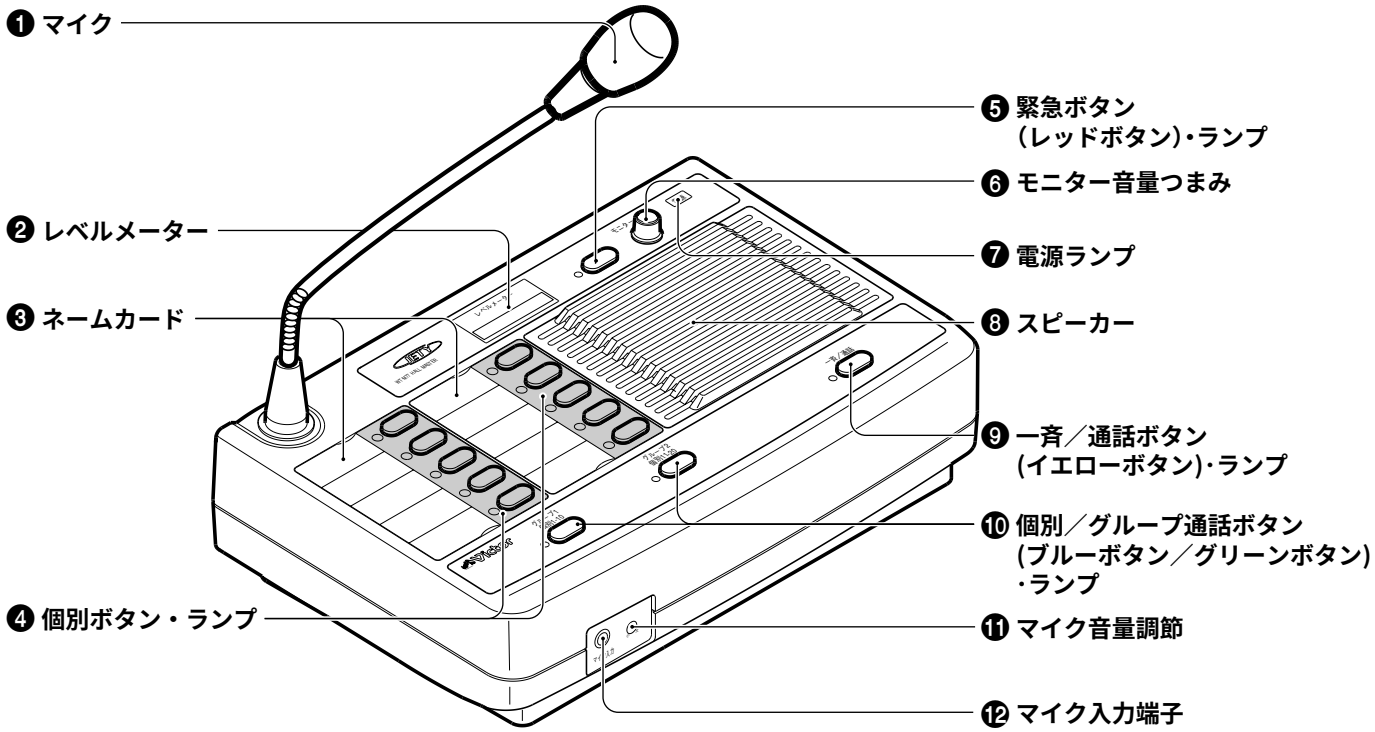
システム構成図


コントロールマイクロホン
WT-UM8
コントロールマイクロホン
WT-UM3
インターカム専用型
WT-T800 シリーズ
ホールマスター
WT-MC80
マスターレシーバー
WT-R80
サブコントローラー
WT-M81
監視システム
ポータブルトランシーバー
WT-TR80
メインコントローラー
WT-M80
マスタートランシーバー
WT-T80
ホール用オーディオミキサー
PS-M350など
コンピューター
Voss サウンド
システム
コントロールマイクロホン
WT-UM1
ワイヤレスマイク兼用型
ワイヤレスチューナー
WT-890シリーズ
ワイヤレスマイクロホン
WM-P780B
アンテナミキサー
WT-D88シリーズ
ウエストバッグ
WT-UB73
チャージャー(無接点式)
WT-C70
チャージャー
WD-C10
ワイヤレスアンテナ(800MHz)
WT-Q840など
ワイヤレスマイクロホン
WM-P770B
WM-P780Bを収納
適合機種=WM-P780B
WM-P770B
適合機種=WT-TR80


操作器
WT-MC80
操作器
WT-MC80
外部入力1
外部起動1
外部入力2
外部起動2
モニター出力1
モニター出力2
緊急子機ID出力
外部機器制御
緊急解除
メイン
コントローラー
主制御装置
WT-M80
サブ
コントローラー
副制御装置
WT-M81
WT-T80/WT-R80
TC R1 TS R2 R3 R4
子機
WT-TR80
エリア1
エリア2
エリア3
エリア4
エリア5
エリア6
エリア7
エリア8
MAX 8 エリア
同時通話MAX子機32台
（1エリア4台×8）
1エリア内での構成・接続
WT-MC80
0.9φ:MAX200m
WT-M80・WT-M81
0.9φ:MAX250m
1.2φ:MAX500m
TC WT-T80 WT-TR80 R1
2m:0.9φ
TS WT-T80 WT-TR80 R2
2m:0.9φ
WT-R80 WT-TR80 R3
2m:0.9φ
WT-R80 WT-TR80 R4
（子機）

各部のなまえとはたらき

ホールマスター／WT-MC80 (操作器)



❶ マイク
通話をするときに、このマイクに向かってお話しください。

❷ レベルメーター
モニター中はスピーカーへの入力レベル、通話中はマイク音量レベルを表示します。

❸ ネームカード
個別ボタンに登録した個人名などを記入します。

❹ 個別ボタン・ランプ
登録してある人と、個別に通話をするときに、このボタンを押します。このとき、ランプが点灯します。

❺ 緊急ボタン(レッドボタン)・ランプ→ 19 ページ参照
緊急の場合にこのボタンを押します。

❻ モニター音量つまみ
スピーカーから出るモニター音声の音量を調節します。
緊急時の「ピ・ピ・ピ…（10回）」という音の音量も連動して変化します。

❼ 電源ランプ
電源が供給されるとランプが点灯します。

❽ スピーカー
モニター音声を出力します。

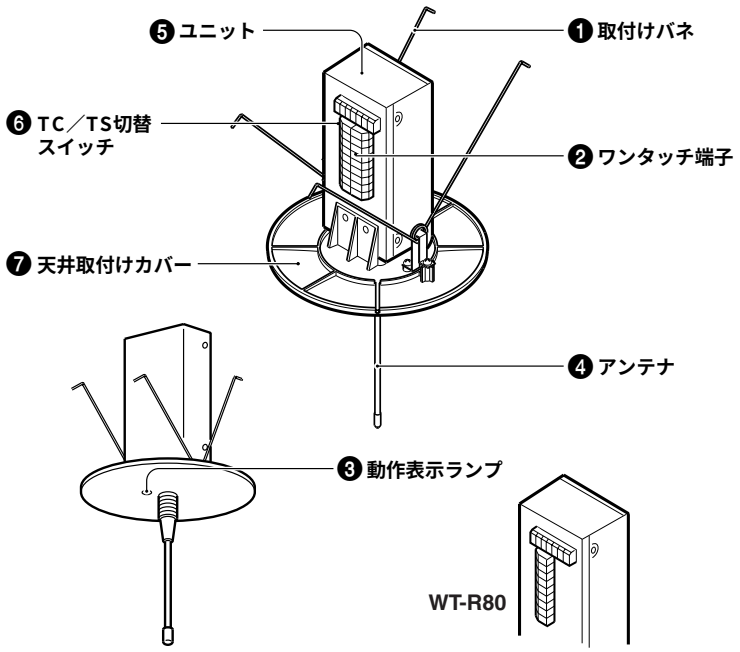
❾ 一斉／通話ボタン(イエローボタン)・ランプ
操作器から通話するときや、呼び出しに応答するとき、このボタンを押します。
ランプは、通話するときに点灯します。

❿ 個別／グループ通話ボタン(ブルーボタン／グリーンボタン)・ランプ
個別呼び出しをするとき、このボタンを押しながら話します。
→ 18 ページ参照
No.1 ～ 10 はブルーボタン
No.11 ～ 20 はグリーンボタン
グループモード時で、グループ別の一斉指示をするときにも、このボタンを押します。→ 15 ページ参照
※通常モードとグループモードは、お客様の仕様に合わせて、あらかじめ設定されています。システムの設定状態については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

⓫ マイク音量調節
操作器のマイクおよびマイク端子に接続したマイクの音量を設定します。

⓬ マイク入力端子（不平衡－ 46dBs 10k Ω）
市販のマイクが接続できます。マイク接続時は操作器のマイクは使用できません。
マイクは、ミニプラグ（Φ 3.5）をご使用ください。

マスタートランシーバー／WT-T80
マスターレシーバー／WT-R80



❶ 取付けバネ
本機を天井取付け金具に取付けるためのバネです。

❷ ワンタッチ端子
メインコントローラー／ WT-M80、サブコントローラー／WT-M81および他のWT-T80/WT-R80との接続用端子です。

❸ 動作表示ランプ
本機の動作状態を表示します。
詳細は「各部のランプ表示」(22ページ)をご覧ください。

❹ アンテナ

❺ ユニット

❻ TC/TS 切替スイッチ

❼ 天井取付けカバー

ポータブルトランシーバー／WT-TR80 (子機)

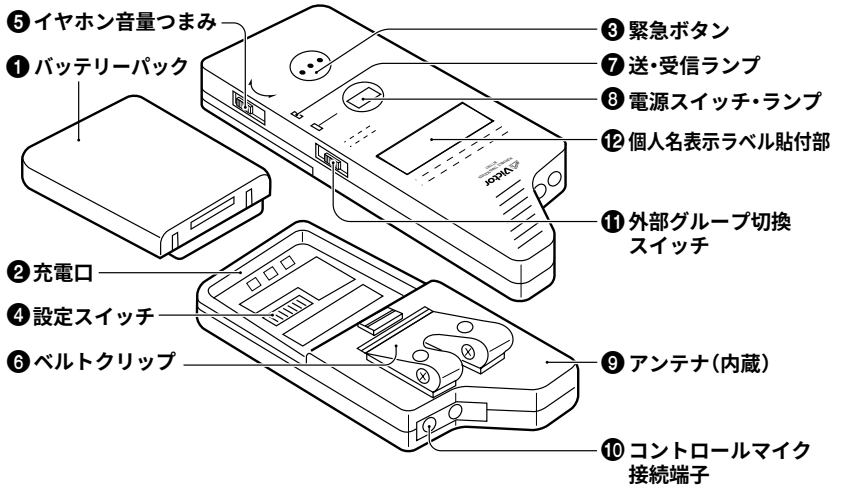
❶ バッテリーパック
本機専用のリチウムイオンタイプの専用充電式電池です。

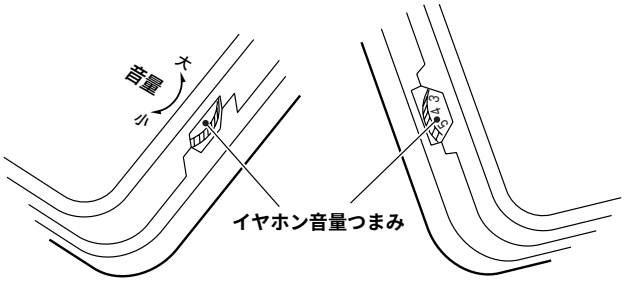
❷ 充電口（底面）

❸ 緊急ボタン → 19 ページ参照
緊急の場合にこのボタンを押します。

❹ 設定スイッチ
各種設定のためのスイッチです。

❺ イヤホン音量つまみ
コントロールマイクのイヤホン端子に接続したイヤホンの音量が調節できます。
音量を大きくしたい時は「大」の方向につまみを回してください。





❻ ベルトクリップ
本機をズボンのベルト等に装着するときに、ご使用ください。

❼ 送・受信ランプ
本機の動作状態を表示します。
詳細は「各部のランプ表示」（22 ページ）をご覧ください。

❽ 電源スイッチ・ランプ
本機の電源を入／切するスイッチです。電源の入／切については「お使いになる前の準備」（12 ページ）をご覧ください。
詳細は「各部のランプ表示」（22 ページ）をご覧ください。
電源投入時やご使用中に、ランプが緑色の点滅する場合は、バッテリーが消耗しています。ただちに充電してください。
（このとき、イヤホンから「ピ・ピ」というアラーム音が 10 秒間隔で聞こえます。）

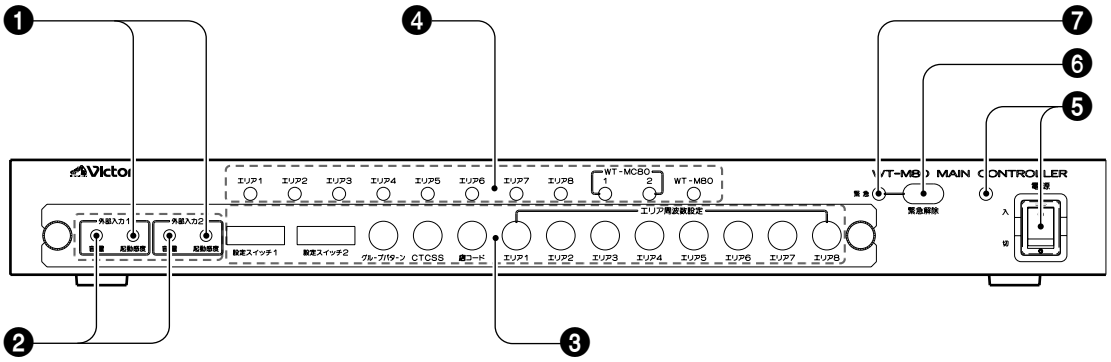
❾ アンテナ（内蔵）

❿ コントロールマイク接続端子
コントロールマイク（別売）を接続します。

⓫ 外部グループ切換スイッチ
グループ 1、グループ 2 の切替スイッチです。操作方法については「子機のグループを変更する」（16 ページ）をご覧ください。

⓬ 個人名表示ラベル貼付部
12 mm幅のラベル等の貼り付けが可能です。

メインコントローラー／WT-M80 主制御装置



❶ 外部入力起動感度調節
外部入力に接続した機器の音声信号に対する起動の応答性を変化させます。右に回すほど小さな音量で起動するようになります。

❷ 外部入力音量調節
外部入力に接続した機器の音量を調節します。

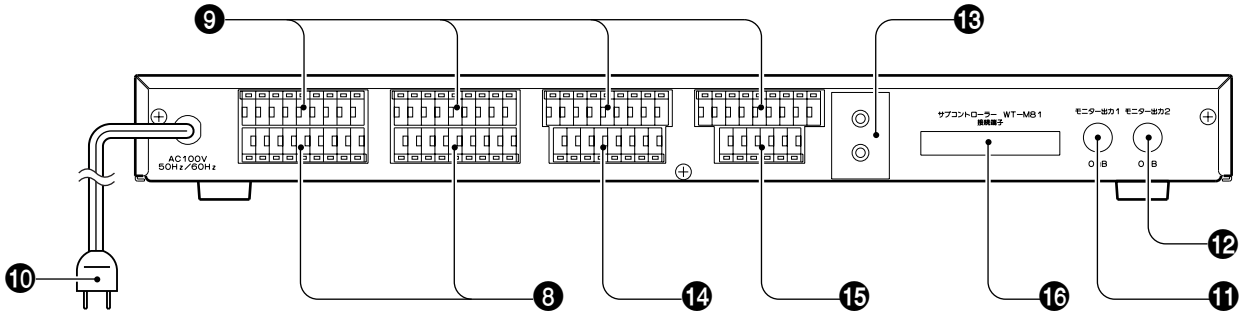
❸ 設定スイッチ他
システムの各種設定をおこないます。設定の変更はお買い上げの販売店、または最寄りのビクターサービス窓口に依頼してください。

❹ 状態表示ランプ
WT-M80、各エリアの WT-T80、WT-R80、WT-MC80 の状態を表示します。
詳細は「各部のランプ表示」（22 ページ）をご覧ください。

❺ 電源スイッチ・ランプ
本システムのメイン電源スイッチです。電源が供給されると、ランプが点灯します。

❻ 緊急解除ボタン
緊急起動解除するボタン。

❼ 緊急ランプ
緊急起動中は赤色点灯。



❽ 操作器接続端子
ホールマスター／ WT-MC80 を接続します。

❾ WT-T80 接続端子
マスタートランシーバー／ WT-T80 を接続する端子です。

❿ 電源コード
商用電源（AC100V）に接続してご使用ください。

⓫ モニター出力 1 端子（電子平衡　0dBs　100 Ω）
グループ 1, 2 または両方のグループの音声信号を出力します。
パワーアンプなどに接続してください。
接続には、φ 6.3 複式フォノプラグをご使用ください。

⓬ モニター出力 2 端子（電子平衡　0dBs　100 Ω）
グループ 1, 2 または両方のグループの音声信号を出力します。
パワーアンプなどに接続してください。
接続には、φ 6.3 複式フォノプラグをご使用ください。

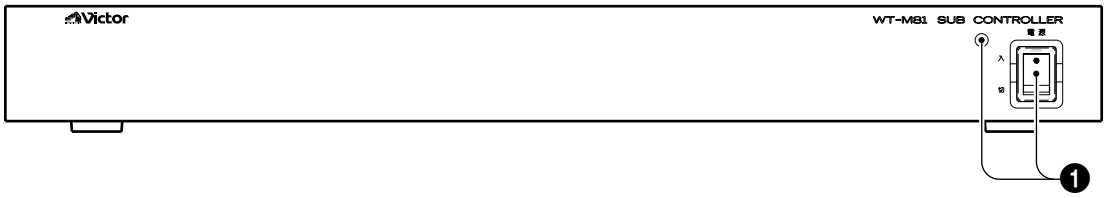
⓭ ケーブルタイ取付穴
配線を束ねるケーブルタイ（大）（添付部品）を取付けます。

⓮ 外部入力接続端子
外部からの制御による起動で音声を送出させるときに接続します。
コンピューターの音声などを入力します。
外部入力は 2 系統入力できます。

⓯ 緊急機能信号接続端子
外部機器の制御出力、外部からの緊急解除入力、緊急子機 ID 出力の端子です。

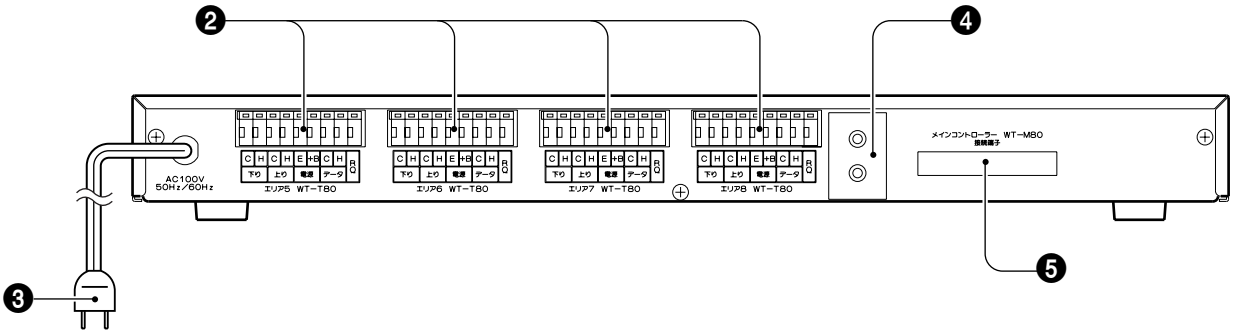
⓰ サブコントローラー WT-M81 接続端子

サブコントローラー／WT-M81 副制御装置



❶ 電源スイッチ・ランプ

本機のメイン電源スイッチです。電源が供給されると、ランプが点灯します。



❷ WT-T80 接続端子

マスタートランシーバー／ WT-T80 を接続する端子です。

❸ 電源コード

商用電源（AC100V）に接続してご使用ください。

❹ ケーブルタイ取付穴

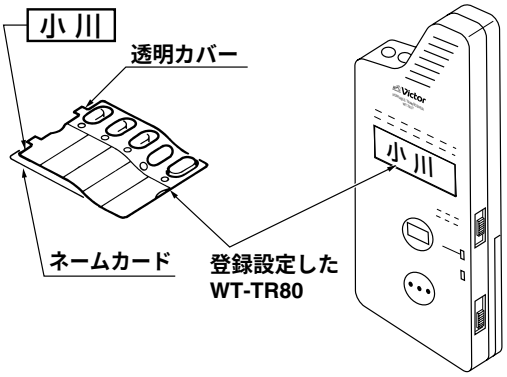
配線を束ねるケーブルタイ（大）（添付部品）を取付けます。

❺ メインコントローラー WT-M80 接続端子

お使いになる前の準備

ホールマスターのネームカードに名まえを記入する

①ネームカードの透明カバーをはずします。
②ネームカードに個人名を書き入れます。
個人名を書き入れる場合、ラベルワープロなどを利用することにより、容易に美しく仕上げられます。
③ネームカードの透明カバーを取付けます。
透明カバーには保護フィルムが貼ってあります。
はがして、お使いください。



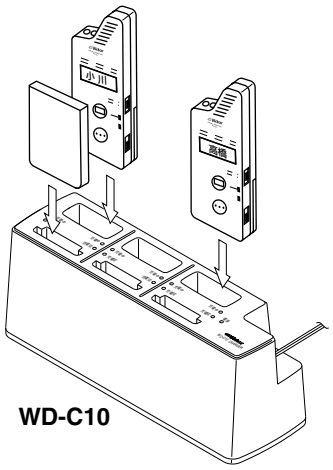
MEMO

- ネームカードは裏面もご使用になれます。
- ネームカードは消耗品扱いです。
- 子機の個人名表示ラベル貼付部には12mm幅のラベル等を貼り付けて名前等を書いておくと便利です。

ご注意

ネームカードを取りはずしているときは、異物が混入しないようにしてください。内部破損の原因となります。

ポータブルトランシーバーを充電する



お使いになるときは、あらかじめ専用充電器／WD-C10で充電(約4時間) してください。
専用充電器の取扱説明書も必ずお読みください。

⚠警告

■本機を充電中、異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他今までと異なることに気がついたときは、ただちに充電器から取り出し、使用を中止してください。

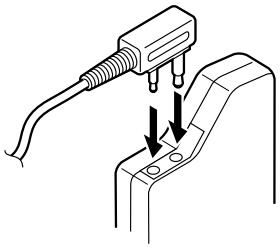
ご注意

- 本機を充電するときに、コントロールマイクロホンのケーブルを巻き付けないでください。ケーブルの断線等の原因となります。
- 充電するときは本機の電源は切ってください。



コントロールマイクを接続する

コントロールマイクのプラグはまっすぐに差して、奥までしっかり入れてください。



ご注意

- コントロールマイクを接続するとき、はずすときはポータブルトランシーバーの電源を切ってください。
- プラグの抜き差しはこじらないようにしてください。
- コントロールマイクをはずすときはケーブルを引っ張らないでください。

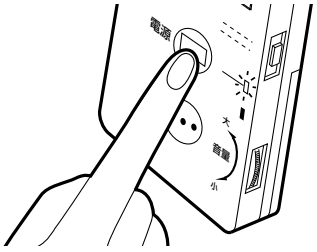
ポータブルトランシーバーの電源の入れかた／切りかた

電源を入れる

電源ランプが緑色の点灯となるまで電源ボタンを押しつづけます。(1秒以上)

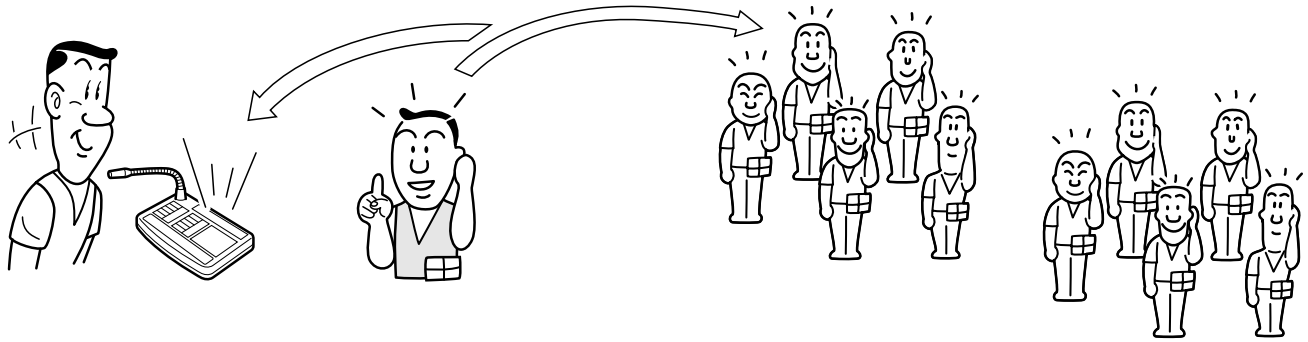
電源を切る

電源ランプが消えるまで電源ボタンを押しつづけます。(1秒以上)

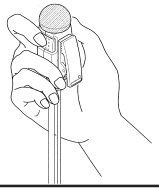


子機から操作器や子機を呼び出す

このとき、通話相手以外にも会話の内容は聞こえています。
グループ運用では、他のグループには会話の内容は聞こえません。



1. マイクの (黄) ボタンを押しつづけます



2.



送受信

イヤホンからの「プー」という音が止まったら、(黄) ボタンを押したまま、マイクに向かってお話しください。

- このとき、送・受信ランプは、オレンジ色（赤緑同時）に点灯します。

通話を終えるには

話し終えたら (黄) ボタンをはなしてください。

- このとき、送・受信ランプは、消灯します。

このとき同じグループの他の子機は



送受信

イヤホンから操作器と子機の会話が聞こえます。

- このとき送・受信ランプは、緑色に点灯します。

応　答
17ページ

このとき他のグループの子機は



送受信

この会話を聞くことはできません。

- このとき送・受信ランプは、点灯しません。

MEMO

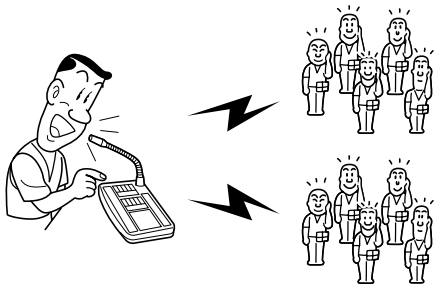
- 「プー、ピ、プ、ピ、プ …」あるいは「ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえたときは、
  ①自分が通話圏外にいる
  ②通話圏内にいるがチャンネルがすべて使用されている
  ③内緒モードで他の子機と操作器が会話をしている
  ので故障ではありません。しばらくしてからもう一度 *1.* から始めてください。
- 接話タイプのマイクを使用していますので、口もとをできるだけマイクに近づけてお話しください。（1〜2cm）
- グループ運用では、メインコントローラー／WT-M80の操作器接続端子のWT-MC80①に接続されている操作器はグループ1、WT-MC80②に接続されている操作器はグループ2の会話が聞こえます。

ご注意

- グループ運用でご使用するためにはシステムの設定を変更する必要があります。
  設定変更はお買い上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

操作器から一斉指示をする

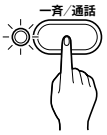
通常の業務連絡やすべての子機と他の操作器に一斉に指示を出すときに使います。
応答した相手とは、電話のように会話できます。このとき、話の内容は連絡相手以外の人にも聞こえています。



1. 一斉／通話ボタンを押しつづけます。



2. スピーカーから、「プッ」という音がします。



● 一斉/通話ランプが点灯します。

3. 一斉/通話ボタンを押したままマイクに向かってお話しください。



このとき他の子機は

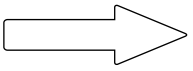


イヤホンから操作器の指示や連絡が聞こえます。

送受信 

●このとき送･受信ランプは、緑色に点灯します。

通話を終えるには



一斉/通話ボタンをはなします。



● 一斉/通話ランプは消灯します。

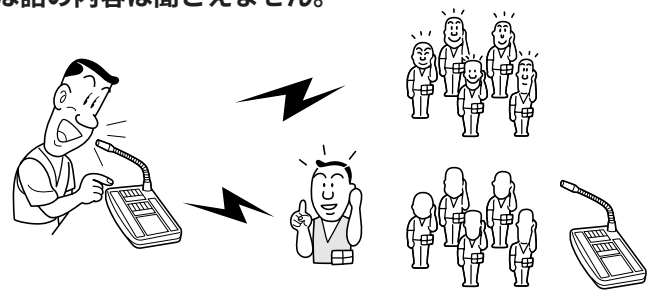
応　答
17ページ

MEMO

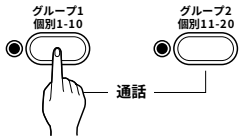
● 話すときは、口もとをできるだけマイクに近づけてください。(2～3cm)

操作器からグループ別に一斉指示をする

グループ別に業務連絡や一斉指示を出すときに使います。
応答した相手とは、電話のように会話できます。このとき同じグループの子機と操作器には話の内容が聞こえますが、他のグループの子機と操作器には話の内容は聞こえません。



1. 連絡したいグループの通話ボタン[ブルー]または[グリーン]を押し続けます。



2. スピーカーから、「プ」という音がします。

- 押した側のグループ通話ランプが点灯します。
- 押した側のグループの通話が聞こえます。

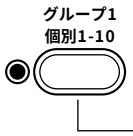


3. グループ通話ボタンを押したままマイクに向かってお話しください。



通話を終えるには

グループ通話ボタンをはなします。



- 押した側のグループ通話ランプが消灯します。

このとき呼ばれたグループ

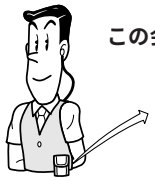


イヤホンから親機の指示や連絡が聞こえます。

送受信

- このとき送･受信ランプは、緑色に点灯します。

このとき他のグループの子機は



この会話を聞くことはできません。

送受信

- このとき送･受信ランプは、点灯しません。

応　答
17ページ

MEMO

- 話すときは、口もとをできるだけマイクに近づけてください。(2～3cm)
- グループ運用で操作器のボタンを押していないときは、メインコントローラー／WT-M80の操作器接続端子のWT-MC80①に接続されている操作器はグループ1、WT-MC80②に接続されている操作器はグループ2の会話が聞こえます。

ご注意

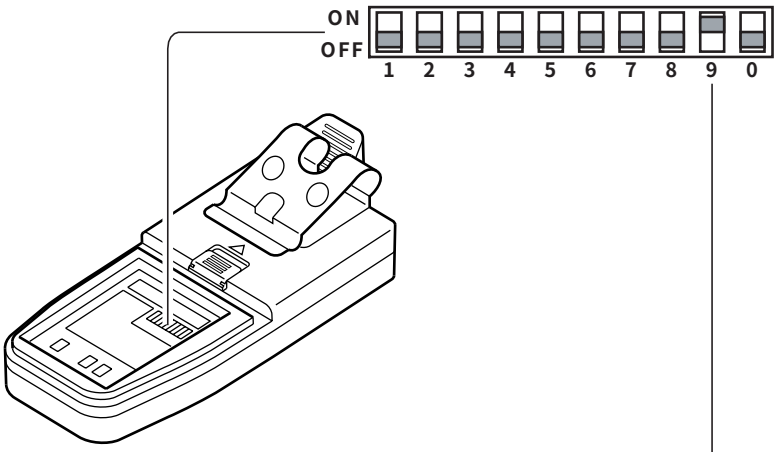
- グループ運用でご使用するためにはシステムの設定を変更する必要があります。
  設定変更はお買い上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

子機のグループを変更する

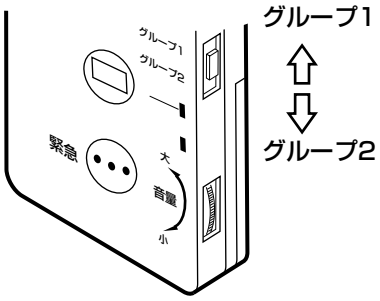
グループ運用で使用中、子機のグループを外部グループ切換スイッチまたは設定スイッチの操作で変更することができます。

外部グループ切換スイッチにてグループを変更する場合

① 設定スイッチ‘ 9 ’をONにする。



② 外部グループ切換スイッチを変更する。

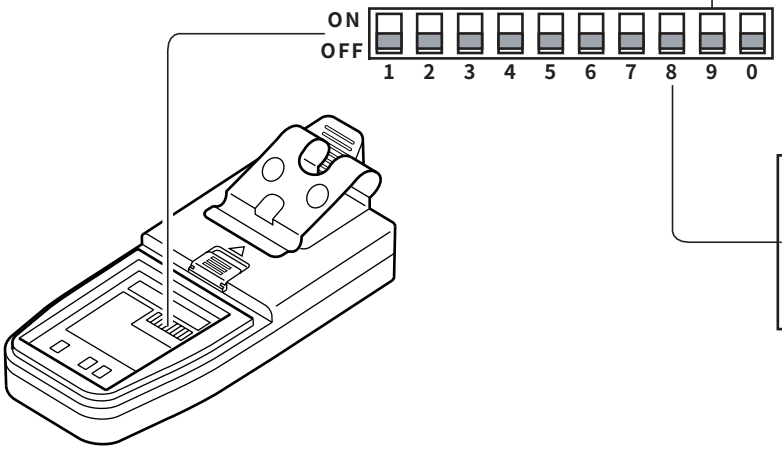


グループ1
⇧
⇩
グループ2

ON	9	外部グループ切換スイッチが有効になります。
OFF	9	外部グループ切換スイッチが無効になります。

設定スイッチにてグループを変更する場合

① 設定スイッチ‘ 9 ’をOFFにする。
② 設定スイッチ‘ 8 ’を変更する。



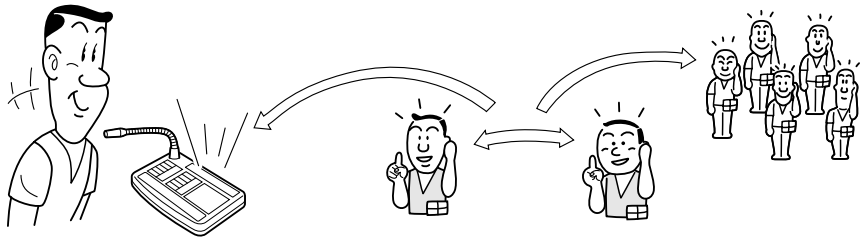
ON	8	グループ2
OFF	8	グループ1

ご注意

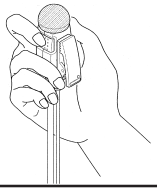
- 外部グループ切換スイッチを使用しない場合は、付属ラベルを外部グループ切換スイッチを覆うように貼り付けてください。
- ディップスイッチの設定は電源を切っておこなってください。

子機で呼び出しに応答する／通話に参加する 基本的な使いかた

子機や操作器からの呼び出し、一斉指示に応答して電話のように会話ができます。さらに通話に参加もできます。
（最大34者）
応答した相手とは、電話のように会話できます。このとき話の内容は連絡相手以外の人にも聞こえています。
（グループ別の一斉指示の場合は他のグループの子機には話の内容は聞こえません。）



1. マイクの（黄）ボタンを押しつづけます



2.



送受信

イヤホンからの「プー」という音が止まったら、（黄）ボタンを押したまま、マイクに向かってお話しください。

- このとき、送・受信ランプの点灯は、緑色からオレンジ色（赤緑同時）に変わります。

通話を終えるには

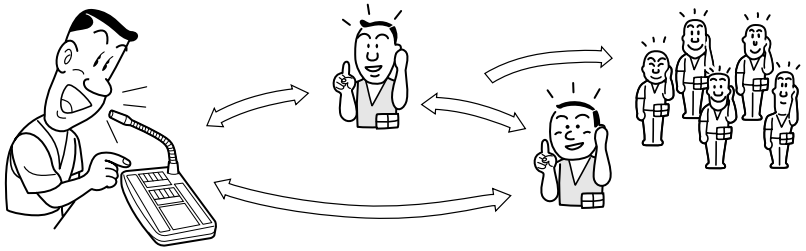
話し終えたら（黄）ボタンをはなしてください。

MEMO

- 「ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえたときは、エリア内のWT-T80／R80が全て使用されています。しばらくしてからもう一度*1.*から始めてください。

操作器で呼び出しに応答する／通話に参加する

子機や他の操作器からの呼び出し、一斉指示に応答して電話のように会話ができます。さらに通話に参加もできます。
（最大34者）
応答した相手とは、電話のように会話できます。このとき話の内容は連絡相手以外の人にも聞こえています。



1. スピーカーから、子機の会話が聞こえています。



2. 一斉/通話ボタンまたはグループ通話ボタンを押したまま、マイクに向かってお話しください。



MEMO

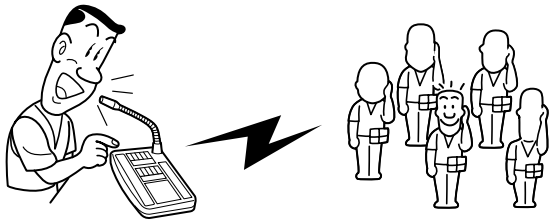
- 子機の会話がスピーカーから聞こえていても、こちらからの声は一斉／通話ボタンまたはグループ通話ボタンを押さないと伝わりません。
- 話すときは、口もとをできるだけマイクに近づけてください。（2～3cm）

ご注意

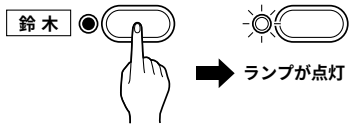
- グループ運用なしの場合は一斉／通話ボタンによる一斉通話が、グループ通話運用ありの場合は一斉／通話ボタンによる一斉通話とグループ通話ボタンによるグループ一斉通話ができます。

操作器から個別呼び出しをする(内緒モード)　基本的な使いかた

あらかじめ登録した子機(最大20台)の中から特定の1台を持つ人に連絡するときに使います。
このとき、連絡相手の子機とは電話のように会話でき、会話の内容は他の人には聞こえません。

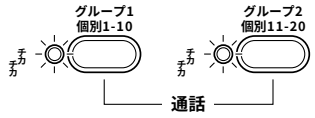


1. 連絡したい相手の個別ボタンを押します。

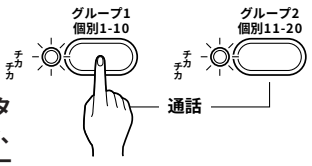


- 連絡したい相手の個別ランプが点灯します。
- 間違えたときは、続けて正しい個別ボタンを押してください。

2. 個別通話ランプ2個(個別番号1-10、および11-20)が点滅します。



3. 連絡したい相手の個別番号に合わせて、個別通話ボタン[ブルー](個別1-10)、または[グリーン](個別11-20)を押し続けます。



- 個別ボタンを押してから、約3秒以内に個別通話ボタン〔ブルー〕、または〔グリーン〕を押さなかった場合、リセットがかかり、個別ランプが消灯します。もう一度、*1.* から始めてください。

4. スピーカーから、「プ」という音がします。



- 押した側の個別通話ランプが点灯し、押さなかった側のランプは、消灯します。

5. 個別通話ボタンを押したままマイクに向かってお話しください。



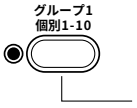
このとき他の子機は



この会話を聞くことはできません。
- このときにマイクの (黄) ボタンを押すと、「ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえます。このときは (黄) ボタンをはなし、しばらくしてからもう一度 (黄) ボタンを押してください。
- このとき送･受信ランプは点灯しません。

通話を終えるには

個別通話ボタンをはなします。



- 個別通話ランプは消灯します。

MEMO

- スピーカーから「プー、ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえるのは、呼び出そうとする子機がエリア外にいるか、電源が切れている場合で故障ではありません。
- 話すときは、口もとをできるだけマイクに近づけてください。(2～3cm)
- 通話中、緊急信号送出中及び外部機器からの音声が送られている場合には個別呼び出しをおこなうことはできません。

呼び出された子機は

1.

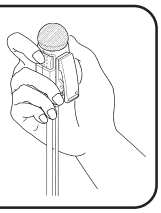


送受信

イヤホンから「プ」という音に続いて、親機の声が聞こえてきます。

- このとき送･受信ランプは、緑色に点灯します。

2. マイクの (黄) ボタンを押したまま、マイクに向かってお話しください。



MEMO

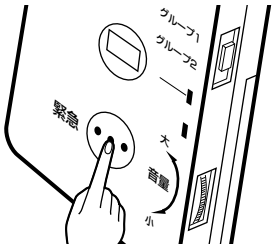
- 親機の声がイヤホンから聞こえていても、こちらからの声は (黄) ボタンを押さないと伝わりません。
- 接話タイプのマイクを使用していますので、口もとをできるだけマイクに近づけてお話ください。(1～2cm)

緊急ボタンを使う

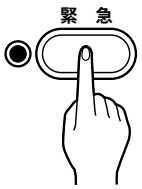
操作器や子機の緊急ボタンを押すことにより、緊急信号を送出することができます。
緊急信号の送出中は緊急ボタンを押した操作器や子機のマイクがオン状態になり、すべての操作器と子機に音声が送られます。

1. 緊急ボタン（1秒以上）を押す

■ 子機



■ 操作器



2. 緊急信号の送出

- すべての操作器のスピーカー、及び子機のイヤホンからは「ピ・ピ・ピ…（10回）」という音が聞こえます。
- マスターコントローラー／WT-M80の表示
  正面パネルの緊急ランプが点灯し、緊急ボタンを押した子機のいるエリアのエリア状態ランプ、またはWT-MC80状態ランプのいずれかがオレンジ色（赤緑同時）の点滅になります。
- 操作器の表示
  ①緊急ボタンを押した場合 ： 緊急ランプと一斉ランプが点灯します。
  ②その他の操作器 ： 緊急ランプが点滅します。
- 子機の表示
  ①緊急ボタンを押した場合 ： 送受信ランプがオレンジ色（赤緑同時）の点滅になります。
  ②その他の子機 ： 送受信ランプが緑色に点灯します。
- 緊急ボタンを押した操作器、あるいは子機のマイクの音声がすべての操作器と子機に送られます。

3. 緊急信号送出中（緊急解除されるまで）

- 緊急ボタンを押していない操作器からは一斉／通話ボタンで通話ができます。（グループ一斉、個別呼び出しはできません。）
- 緊急ボタンを押していない子機からはマイクの㊐ボタンを押すことにより通話ができます。（この時、イヤホンからは「ピ・ピ・ピ…（10回）」という音が聞こえます。）
- 圏外に出ていた子機が圏内に入るとイヤホンからは「ピ・ピ・ピ…（10回）」という音が聞こえます。

4. 緊急解除

- WT-M80の正面パネルの緊急解除ボタンを押します。
- 緊急ランプが消灯し、その後約３秒でオレンジ色（赤緑同時）の点滅をしていた状態表示ランプが緑色点灯に戻ります。

※緊急解除時、緊急ボタンを押した子機が圏外に出ている場合、その子機が圏内に入ると *2.* の状態に戻ります。

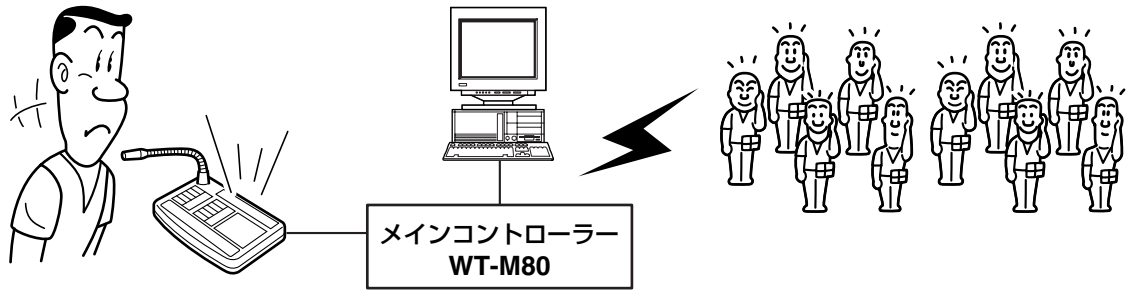
※緊急解除後はすべての子機が圏内にいて、WT-M80のエリア状態ランプがオレンジ色（赤緑同時）の点滅ではないことを確認して運用を再開してください。

ご注意

- 緊急ボタンを使用するためにはシステムの設定が必要です。お買い上げの販売店、または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。
- 通話中に緊急信号が送出されると、通話は切断されます。再び通話するときはもう一度㊐ボタンを押しなおしてください。
- グループ運用で緊急信号が送出中はすべての通話は一斉通話になります。
- 緊急信号の送出時にモニター出力には「ピ・ピ・ピ…（10回）」という音は聞こえません。
- 操作器のモニター音量つまみを左に回しきった状態では操作器のスピーカーから「ピ・ピ・ピ…（10回）」という音は聞こえません。

外部機器からの音声を送る

ホールコンピューターなど外部入力端子に接続した機器の音声出力を親機や子機に送ることができます。
外部入力は2系統あり、それぞれを ① グループ1のみ、② グループ2のみ、③ 全ての子機に送るの3とおりに設定できます。



このとき操作器は



外部機器からの音声がスピーカーから聞こえます。

- 「操作器で呼び出しに応答する／通話に参加する」(17ページ)の方法で通話することができます。
- 子機への個別呼び出し(内緒モード)をおこなうことはできません。

このときすべての子機は



イヤホンから外部機器からの音声が聞こえます。

送受信

- このとき送･受信ランプは、緑色に点灯します。
- 「子機で呼び出しに応答する／通話に参加する」(17ページ)の方法で通話することができます。

MEMO

● 話すときは、口もとをできるだけマイクに近づけてください。(2～3cm)

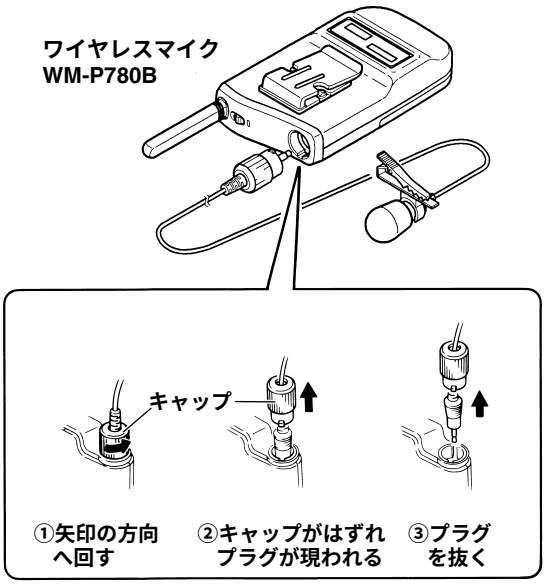
店内放送をする

この操作をするには、別売のコントロールマイクロホン／WT-UM1を含む、800MHz帯ワイヤレス放送システム（6ページ参照）の事前設置が必要です。
詳しくは、お買上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

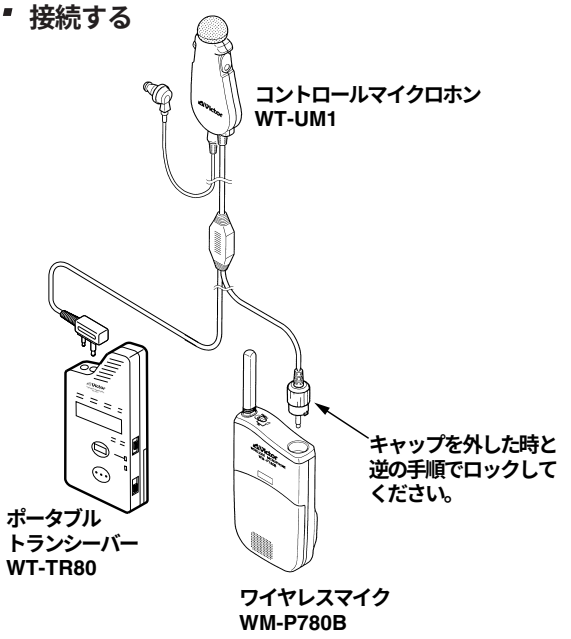
コントロールマイクロホン/WT-UM1との接続のしかた

コントロールマイクロホン／WT-UM1および
ワイヤレスマイク／WM-P780Bの取扱説明書も必ずお読みください。

1. ワイヤレスマイクからマイクを取り外す。



2. 各機種をコントロールマイクロホン/WT-UM1で接続する



使用上のご注意

電源スイッチについて

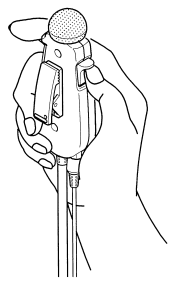
ワイヤレスマイクと同時にお使いになる場合、ポータブルトランシーバー／WT-TR80とワイヤレスマイク／WM-P780Bの両方の電源スイッチをONにしてください。WT-UM1を接続したときは、ワイヤレスマイク側の電源ランプは、WT-UM1の (緑) スイッチに連動します。

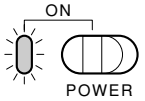
専用バッテリーの消耗について

ワイヤレスマイクと同時にお使いになる場合、運用できる時間は、それぞれの機器で異なります。
バッテリーの消耗確認は必ず各機器ごとにおこなってください。

ワイヤレスマイクとして店内放送をする

1. コントロールマイクロホンの (緑) スイッチを押し上げる。





- このときWM-P780Bの電源ランプが赤色に点灯します。

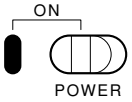
2. (緑) スイッチを押し上げたまま、マイクに向かってお話ください。



放送を終えるには

(緑) スイッチをはなします。

- このときWM-P780Bの電源ランプも消灯します。



各部のランプ表示

■メインコントローラー／WT-M80

エリア1～8状態表示ランプ		状態
消灯		対応エリアのWT-T80が接続されていません。
緑	点灯	正常待ちうけ状態です。(受信していない)
オレンジ	点灯	対応エリアの子機が発信しています。
(赤緑同時)	点滅	対応エリアの子機から緊急起動されています。
赤	点滅	対応エリアの異常を検出しました。

WT-MC80状態表示ランプ		状態
消灯		対応するWT-MC80が接続されていません。
緑	点灯	正常待ちうけ状態です。(マイクオフ)
オレンジ	点灯	対応するWT-MC80が通話しています。(マイクオン)
(赤緑同時)	点滅	対応するWT-MC80から緊急起動されています。
赤	点滅	対応するWT-MC80の異常を検出しました。

WT-M80状態表示ランプ		状態
緑	点灯	正常動作状態です。(外部入力起動なし)
オレンジ (赤緑同時)	点灯	正常動作状態です。(外部入力起動あり)
赤	点滅	スイッチ設定に誤りがあります。

■マスタートランシーバー／WT-T80
■マスターレシーバー／WT-R80

動作表示ランプ		状態
消灯		電源が供給されていません。
緑	点灯	正常待ち受け状態です。
オレンジ	点灯	子機から受信しています。
(赤緑同時)	点滅	子機からの緊急起動を受信しています。
赤／緑交互点灯		妨害を受信しています。
赤	点滅	異常を検出しました。

■ポータブルトランシーバー／WT-TR80

電源ランプ		状態
消灯		電源が入っていません。
緑	点灯	通常運用状態です。
	点滅	電池残量が少なくなっています。
赤	点滅	異常を検出しました。

送・受信ランプ		状態
消灯		正常待ち受け状態です。
赤	点灯	WT-T80/WT-R80を探しています。
緑	点灯	受信しています。(マイクオフ)
オレンジ	点灯	受信しています。(マイクオン)
(赤緑同時)	点滅	緊急発信しています。(マイクオン)

ご注意

異常検出やスイッチの設定誤りの表示(赤色点滅)のときは、お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

こんなときは

使用中に不具合が生じた場合は、下記の内容をお調べください。
それでも症状が改善されないときは、お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

対　象	症　　状	考えられる原因	処　　置	参照ページ
WT-M80 WT-M81	電源ランプが消えている	電源スイッチが 切 になっている	電源スイッチを 入 にしてください	10,11
		電源コードが抜けている	電源コードをコンセントに差してください	10,11
WT-TR80	子機の電源が入らない/電源ランプがすぐ消える	専用充電池の残量がありません	①充電してください ②充電された専用充電池に交換してください	12
WT-M80	エリア状態表示ランプが赤/緑の交互点灯になっている	近くで同じ方式(400MHz帯)のインターカムシステムや無線機が使われています	お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください	—
WT-TR80	すべての子機の(黄)ボタンが押されていないのに送受信ランプが緑点灯になっている			
WT-TR80 WT-UM8等	子機の(黄)ボタンを押してもイヤホンから「プー」という音が聞こえず送信できない(送受信ランプがオレンジ(赤緑同時)点灯にならない)	コントロールマイクロホンのプラグが抜けかかっています	プラグを奥まで差しこんでください	12
WT-TR80	子機の(黄)ボタンを押すとイヤホンから「ピ、プ、ピ、プ…」「プー、ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえて送信できない	①内緒モードで操作器と他の子機が通話しています ②圏内のチャンネルがすべて使用されています	しばらくしてから再び(黄)ボタンを押してください	13〜19
WT-TR80	子機の(黄)ボタンを押すとイヤホンから「ピ、プ、ピ、プ…」「プー、ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえて送信できない(送受信ランプが赤色点灯)	圏外です	送受信ランプが消灯または緑点灯になる場所まで移動してから再び(黄)ボタンを押してください	22
		子機がシステムに登録されていません	お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください	—
WT-MC80	操作器から個別呼出しをすると「プー、ピ、プ、ピ、プ…」という音が聞こえて送信できない	①呼出した子機が圏外にいるか電源が切れています ②内緒モードで別の操作器と子機が通話しています ③別の操作器または子機が送信中です ④外部機器からの音声が送られています(メインコントローラーのWT-M80状態表示ランプがオレンジ(赤緑同時)点灯状態)	しばらくしてから再び個別呼出しの操作をしてください	18
		押した個別ボタンに子機が割付けられていない	お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください	—

こんなときは

対　象	症　　状	考えられる原因	処　　置	参照ページ
WT-TR80	受信できない （音が聞こえない）	「音量」が小さすぎます	音量を上げてください	8,9
		コントロールマイクホンやイヤホンのプラグが抜けかかっている	プラグを奥まで差しこんでください	12
		圏外です （送受信ランプが赤色点灯）	送受信ランプが消灯または緑点灯になる場所まで移動してください	22
WT-TR80 WT-MC80	通話が途中で切れる	操作器のボタンや子機の㊎ボタンを押す指がはなれた	通話中は、操作器のボタンや子機の㊎ボタンを押しつづけてください	13〜19
全体	雑音が出たり、音が途切れたりする	切れかけた水銀灯、ネオン灯や空気清浄機などがWT-T80/WT-R80の近くにある	新しい電灯に交換してください 空気清浄機の電極を清掃してください	—
		コントロールマイクホンやイヤホンのプラグが汚れている	プラグを清掃してください	—
		子機の近くにキーホルダーやパイプイスなどの金属物があり、接触している	子機は金属に接触しないように使用してください	—
		子機と子機が近付きすぎている	子機と子機の間は10cm以上離してご使用ください	—
		近くにポンプやモーターなどがあり電源が不安定になっている	お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください	—
		同じ子機ＩＤ（個別番号）の子機から同時に発信された	しばらくしてから再び㊎ボタンを押してください お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください	13〜19 —
全体	雑音が出たり、音が途切れたり、混信（関係ない通話が聞こえる）したりする	近くで同じ方式（400MHz帯）のインターカムシステムや無線機が使われています （近くに工事現場があるなど）	お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください	—

主な仕様

本機ならびに関連商品の仕様及び外観は、改善のため予告なしに変更することがあります。

■ ホールマスター／WT-MC80：操作器

電源	DC +15 V
フレキシブルマイク	エレクトレットコンデンサ型
マイク入力	φ3.5ミニジャック不平衡 入力レベル −46dBs±2dB 入力インピーダンス 10 kΩ
出力レベル計	5点LED
寸法	幅250 mm×高さ63 mm×奥行き160 mm （フレキシブルマイク、フット、突起物含まず）
質量	2.1 kg（フレキシブルマイク含む）
仕上げ	ABS樹脂、アイボリーホワイト

◆付属品、添付品

フレキシブルマイク組立 1
ワイヤークランプ 1
保証書 1
ネジ 2
ビクターサービス窓口案内 1

■ メインコントローラー／WT-M80
■ サブコントローラー／WT-M81

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	44 W（WT-M80）、33 W（WT-M81）
モニター出力1 / 2 （WT-M80）	φ6.3フォノジャック 出力レベル 0 dBs±2dB 電子平衡 出力インピーダンス 100 Ω
音声入力1／2 （WT-M80）	端子板 入力レベル−10 dBs±2dB（トランス平衡） 入力インピーダンス 10 kΩ
起動入力1／2 （WT-M80）	端子板 無電圧接点入力
寸法	幅420 mm×高さ44 mm×奥行き280 mm （突起物含まず）
質量	3.2 kg（WT-M80）、2.9 kg（WT-M81）
仕上げ（パネル面）	黒色半艶焼付塗装

◆付属品、添付品

取扱説明書（本書） ..... 1（WT-M80）
ラベル ..... 1（WT-M80）
保証書 1
安全上のご注意 1
ビクターサービス窓口案内 1
ケーブルタイ（大） 1
WT-M80、
M81接続ケーブル ..... 1（WT-M81）

■ マスタートランシーバー／WT-T80
■ マスターレシーバー／WT-R80

◆一般仕様

送信周波数	454,05000MHz～454,19375MHzの 指定の1波（WT-T80のみ）
受信周波数	413,70000MHz～414,14375MHzの 指定の1波
通信方式	複信方式または半複信方式
電波形式	F2D、F3E
発振方式	水晶制御による周波数 シンセサイザー方式
定格電圧	DC +15 V
消費電流	120 mA
動作温度範囲	0℃～+40℃
アンテナ型式	1/4λホイップアンテナ
質量	440 g（アンテナ含む）
寸法	φ150 mm×150 mm（取付バネ、突起物、 アンテナ含まず）
仕上げ	ABS樹脂、アイボリー 金属カバーメッキ仕上

◆受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
中間周波数	第1中間周波数 21.7 MHz 第2中間周波数 450 kHz
受信感度	0 dBμ以下 （12 dB SINAD測定法による）

◆送信部（WT-T80のみ）

変調方式	周波数変調方式
空中線電力	1 mW
最大周波数偏移	±2.5 kHz以下（常温）
占有周波数帯幅	8.5 kHz以下

◆付属品、添付物

保証書 1
グロメット 1
天井取付け金具 1
アンテナ 1

■ ポータブルトランシーバー／WT-TR80：子機

◆一般仕様

送信周波数	413,70000MHz～414,14375MHzの 指定の1波
受信周波数	454,05000MHz～454,19375MHzの 指定の1波
通話方式	複信方式または半複信方式
電波形式	F3E
発振方式	水晶制御による周波数 シンセサイザー方式
定格電圧	DC +3.6 V
動作温度範囲	0 ℃～+40 ℃
アンテナ型式	ヘリカル型（内蔵）
使用時間	約16時間 （専用充電式電池 新品時4時間充電、送受 信1分、待受9分）
寸法	幅 53 mm×高さ142 mm×厚さ21.5 mm（アンテナ、ベルトクリップ含まず）
仕上げ	ABS樹脂、ダークブルー
質量	150 g

◆受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
中間周波数	第1中間周波数 21.7 MHz 第2中間周波数 450 kHz
受信感度	0 dBμ以下 （12 dB SINAD測定法による）

◆送信部

変調方式	周波数変調方式
空中線電力	1 mW
最大周波数偏移	±2.5 kHz以下（常温）
占有周波数帯幅	8.5 kHz以下

◆付属品、添付品

保証書 1
電池の取扱いについてのご注意 1
ラベル 1

消耗品について

この取扱説明書のなかで、消耗品と記載されてあるもの、および「天井取付け金具」などの付属品は保証期間内でも有償とさせていただきます。
お買い求めは、お買い上げ販売店、または最寄りのビクターサービス窓口にお問い合わせください。

消 耗 品 一 覧

商　品　名	機種名	部品名	
メインコントローラー	WT-M80	ラベル	
ホ ー ル マ ス タ ー	WT-MC80	ネームカード ①	
		ネームカード ②	
ポータブルトランシーバー	WT-TR80	専用充電式電池	
		ベルトクリップ	
		ラベル	
コントロールマイクロホン	WT-UM8 WT-UM3 WT-UM1	風防	
		ケーブルクランプ	
		イヤホンセット	耳栓(小)
			耳栓(大)
			ユニット
			コード

省エネルギーについて

節電のため、使用しない時は電源を切ってください。

商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

保証とアフターサービス （必ずお読みください）

1. 保証書の記載内容のご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

2. 保証期間について
保証期間は、お買い上げ日より1年間、保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。
その他詳細は保証書をご覧下さい。

3. 保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理について、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料で修理致します。

4. アフターサービスについてのお問い合わせ先
アフターサービスについてのご不明の点はお買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

● 修理を依頼されるときはお買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

- 商品名　ホールマスター、メインコントローラー、マスタートランシーバー、ポータブルトランシーバーなど
- 型　名　WT-MC80・WT-M80・WT-T80・WT-TR80など
- お名前とおところ
- 電話番号
- 故障症状（詳しく）

本機を改造しないでください。
故障などの原因になります。

WT-T800シリーズ　ワイヤレスインターカムシステム

お客様ご相談センター

東　京	大　阪
☎ (03)5684-9311［代表］ FAX (03)5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	☎ (06)6765-4161［代表］ FAX (06)6765-4891 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

日本ビクター株式会社

システムネットワーク事業本部

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（0426）60-7203

〒103-0007　東京都中央区日本橋浜町2-1-1（田辺ビル）　電話（03）3663-9054

© 2002 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

LST0053-001A